

(公財) 地震予知総合研究振興会
長岡平野西縁断層帯の活動性評価に関する研究委員会 (第18回)

概要報告

1. 日時 平成30年10月29日(月) 14:00～16:30

2. 出席者

主査	東北大学	名誉教授	長谷川 昭
委員	東京大学地震研究所	教授	岩崎 貴哉
	東北大学	准教授	岡田 知己
	地震予知総合研究振興会	会長	金沢 敏彦
	東京大学地震研究所	准教授	酒井 慎一
	防災科学技術研究所		武田 哲也
	東北大学	准教授	中原 恒
	東京大学地震研究所	教授	平田 直
	産業技術総合研究所		丸山 正
	横浜市立大学	教授	吉本 和生
事務局	(公財) 地震予知総合研究振興会		

(敬称略)

3. 議第

- (1) 平成30年度上半期の活動報告
- (2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ー地震観測データの地震波干渉法解析ー
- (3) 基準点改測データに基づく2008年岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動の特徴

4. 委員会の状況

平成30年度上半期の活動報告として地震活動状況等について説明があったのち、観測データを用いた解析、ひずみ集中帯の地震活動による地殻変動等の幅広い分野における最新の調査研究について話題提供があった。

(1) 平成30年度上半期の活動報告

平成30年度上半期の活動報告が行われた。

- ① 本検討で整備した稠密地震観測網（AN-net）の維持管理状況および地震活動状況の説明が行われ、委員会では、海域の震源深さ分布、気象庁による一元化震源との比較等について意見交換が行われた。

(2) 長岡平野西縁断層帯周辺の地盤構造等の検討ー地震観測データの地震波干渉法解析ー

長岡平野西縁断層帯周辺を対象領域とし、地震観測網から得られた地震波形記録に地震波干渉法を適用して、地盤構造を検討した結果について紹介された。委員会では、地質構造、反射断面図及び昨年度の検討結果との対応関係などに関して意見交換が行われた。

(3) 基準点改測データに基づく2008年岩手・宮城内陸地震に伴う地殻変動の特徴

短縮ひずみの集中している領域で発生した2008年岩手・宮城内陸地震について、周辺基準点の測量成果から変動量を推定した結果について紹介された。委員会では、推定される断層モデルと地殻変動の対応などに関して意見交換が行われた。

以 上